※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート　数学Ｂ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　授業では、課題に対して、自ら考え、疑問があれば質問し、問題解決に結びつけましょう。
・　問題解決をするために、周りの人と協働で考える活動をしましょう。
・　その解法を発表し、周りの人に説明できるようにしましょう。
・　問題集の問題は、まず自分で解いてみましょう。途中の式を必ず書くようにしましょう。また、各自で答え合わせをしてください。答え合わせで間違ったところは必ず質問するようにしてください。
・　授業中の課題や家庭学習用の課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数列、統計的な推測について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度、自らの思考を他者と共有し、互いの考えを理解し考察を深めていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列とその和	数列 等差数列、等差数列の和 等比数列、等比数列の和	a：等差数列や等比数列についての基本的な用語を理解し、一般項を初項や公差・公比を使って表せることができる。また、初項から第ｎ項までの和の求め方に関心をもち、それが、ｎを用いて表せることを理解している。 b: 数列の一般項や和の公式を理解し、どの公式を使えばよいか判断できる。 c:数列を一般項で表す有効性を理解し、積極的に活用しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等
		・和の記号Σ ・自然数の2乗の和 ・いろいろな数列の和 ・階差数列	a: 数列の一般項や和の公式を理解し、いろいろな数列を階差数列やΣなどを使い、解くことができる。 b. 事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 c:自らの思考を他者と共有し、互いの考えを理解し考察を深めようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等
	漸化式と数学的帰納法	・漸化式と一般項 ・数学的帰納法	a: 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法が等式などの証明に使われることを理解している。 b: 自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c:数学的帰納法を理解することで数学のよさを認識し、数学を活用しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等

※令和４年度以降入学生用

2学期	確率分布	・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値 ・分散と標準偏差 ・二項分布 ・二項分布と期待値，分散，標準偏差 ・連続型確率変数 ・正規分布 ・二項分布の正規分布による近似	a:標本調査の考え方、確率変数と確率分布について理解を深めることができる。二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 b: 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 c: 自らの考察を振り返り、確率分布や標本分布の特徴を他者と共有しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等
	統計的な推測	・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・母平均の推定 ・母比率の推定 ・仮説検定	a:正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 b: 目標に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c:日常の事象に対して統計的な推測の知識を活用しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等
3学期	数学を用いた考察	・ごみの量の推定 ・シェアサイクル（自転車シェアリング）	a:社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解する。 b:日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化したり単純化したりして、問題を数学的に表現することができる。 c:日常の事象に対して統計的な推測の知識を活用しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等

※令和４年度以降入学生用

	社会で用いられる数値や指標	・偏差値 ・選挙における議席配分	a:日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知ること。 b:数学化した問題の特徴を見いだし、解決すること。問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察することができる。 c:日常の事象に対して統計的な推測の知識を活用しようとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等
	変化をとらえる	・移動平均 ・回帰直線 ・回帰曲線 ・尺度を変える	a: 数学と社会について，数学的活動を通して、それらを数理的に考察することの有用性を認識する。 b:解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、他の事象に活用すること。 c:統計的な知識を活用してデータの傾向を読み取ろうとしている。	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 定期考査 等	授業ノート 確認テスト 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度